

1月食育だより

★保護者の方もお子さんと一緒に読んでください。

R8.1.30
宇都宮市立宮の原小学校

1月は、新年の健康や幸運を願って、日本に古くから伝わる伝統行事にふれる機会がたくさんあります。おせち料理、七草がゆ、鏡開きと行事食が身近に感じられる月です。

学校給食では、日本の食文化や伝統的な食べ物を知らせるためにも、豆・魚・海藻などを組み合わせた和食の献立を取り入れています。

◇1月24日から30日の1週間は、「全国学校給食週間」です。

日本で学校給食が始まったのは、明治22年山形県鶴岡市です。お弁当を持ってこられない子どもたちにおにぎりと塩鮭、漬物を出したのが給食の始まりとされています。その後、第二次世界大戦で食べるものが少なくなり一時中断していましたが、戦後、外国のユニセフからの援助物資をもとに再開されました。給食週間は給食の長い歴史を振り返り、感謝の気持ちをもって給食を食べることと関心を深める1週間です。

子どもたちの食生活を取り巻く環境は、時代とともに変化しました。現在、学校給食は食育の重要な柱として、栄養バランスや健康、食べ物についての正しい知識を得ること、マナーを学ぶこと、さらに日本の食文化を継承することなど給食を通して伝え学んでいく場となっています。



日本最初の給食

明治22年(1889)年に山形県の私立忠愛小学校で、おにぎり・焼き魚・漬物などが出されたのが学校給食の始まりです。

現在の給食

令和の現在では、食育という教育として昔ながらの郷土料理・行事食・海外料理・お話給食・地場産物を使った給食などを提供しています。写真は子供たちが大好きな、ナンとキーマカレーの献立です。宇都宮市や栃木県で採れた食材をたくさん使用しています。

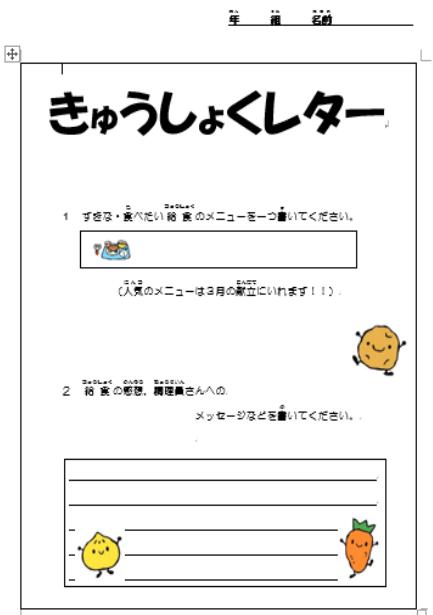


学校給食週間の活動・・・給食委員会にて

～調理員さんへの「感謝の気持ち」の手紙の作成と、 「リクエスト給食」を行います～

給食委員会では今までの給食を振り返り、給食を作ってくれる人への「感謝の気持ち」を伝えることが必要ではないかと考え、用紙の配付を行いました。暑い日も寒い日も、安全で安心な給食を作ってくれる調理員さんへメッセージを書いたらどうだろうという思いです。用紙には一言の他に、自分の食べたい給食や好きな料理などをひとつだけ書きます。

宮の原小では毎年、全校児童から食べたい料理や好きな料理を集計し、3月の献立に取り入れる「リクエスト給食」を行っています。主菜だけでなく、混ぜご飯や煮物、デザートの希望を出すこともできます。ランチルーム前のポストには、説明直後からたくさんの用紙が入りました。どんな結果になるか・・・3月の献立表をお楽しみに！



学校給食週間、他にこんな取り組みも行いました ～宇都宮市と沖縄県うるま市のコラボ給食！～

友好都市提携を結んでいる本市と沖縄県うるま市。それぞれの学校給食で提供されている郷土料理や特産品を使用した料理などのレシピを交換し、それらを相互に学校給食で提供し合う「学校給食交流」があります。児童生徒が各地域の食文化や食に関わる歴史に触れ、地域の特性を生かした食生活（地場農産物）を知り、多様な食文化を尊重する意識を高めるためを行っています。



【献立】

- ・麦入りご飯
- ・牛乳
- ・もずく丼
- ・揚げ餃子
- ・ほうれんそうのナムル